

— 新 刊 書 —

回想のモーリッシュ

—ある自然科学者の人間像—

渋谷 章 著

B 6 判・310頁 ¥1,800

口絵 4・挿絵 42

9 ボ縦組上製本



19世紀後半においてヨーロッパ最高水準の知性を誇ったウィーン大学、そこの総長となり、炭酸同化作用などの機構を明らかにした大自然科学者ハンス・モーリッシュ。彼は、また日本にも招聘され、北大のクラーク博士にも匹敵するほどの大きな影響を東北大学へのこすのであった。その学問と彼の人間像を当時の時代的背景と、アインシュタイン、メンデルなど多くの世界的学者との交際を通して、今ここに浮彫りにする!!

【内容主目】

はしがき (東北大学名誉教授 理博 永野為武) まえがき
はじめにオーストリア人ありき 1. モーリッシュの世界 2. モーリッシュのオーストリア 3. モーリッシュの修業時代 4. モーリッシュのウィーン 5. モーリッシュの遍歴時代 6. 第一次世界大戦前後西欧の眼の下に 1. 日本での準備 2. 日本での歓迎 3. 日本でのモーリッシュ 4. 日本での講義 5. 日本での日常生活 6. 日本での旅行 7. 日本での訣別
ウィーンに死す 1. 栄 光 2. 落 日
ハンス・モーリッシュ関係参考書/ハンス・モーリッシュ関係年表
あとがき/人名索引/肖像その他挿絵目次

★日本産淡水藻の総てを網羅した図鑑★

日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸 編集 B 5 判・950頁
山岸高旺 ¥36,000

(内容見本進呈)

藻類学総説

廣瀬弘幸著 ¥7,000

植物組織学

猪野俊平著 ¥15,000

発芽生理学

中山 包著 ¥2,500

大賀一郎科学論文選集

大賀一郎世話人会編 ¥12,000

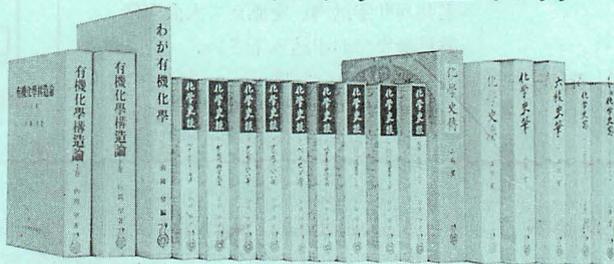
世界の珍草奇木

川崎 勉著 ¥1,300

大気と水の公害概論

大山 正著 ¥1,500

山岡 望著作



化学史談 全8巻と別冊	化学史伝	¥5,300
I. ベーター・グリースの生涯	化学史塵	¥4,800
II. ギーゼンの化学教室	化学史筆	¥3,800
III. アンゼンの88年	六稜史筆	¥3,500
IV. アンゼンの88夜	化学史窓	¥2,500
V. ベンゼン祭	続化学史窓	¥2,500
VI. 化学者の旅行日記	新編わが有機化学	¥4,300
VII. リービヒ・ウェーラー		
ギーゼン時代		
リービヒ・ウェーラー時代		
VIII. ミュンヘン時代		
別冊 総索引と増補		

化学史研究会
(内田老鶴園新社事務取扱)

入会金 1,000円
年会費 3,000円・会誌3回・総会1回

書肆 内田老鶴園新社

東京都千代田区九段北1-2-1
☎(265)3636・振替 東京3-6371

★出版図書目録進呈★

★電話のご注文も受付けます★

学会出版物

下記の出版物をご希望の方に頒布致しますので、学会事務局までお申し込み下さい。

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員は各号750円、非会員には各号1,500円。欠号：1巻1-2号，6巻2，3号，7巻1-3号，8巻1-3号，9巻1-3号。
2. 「藻類」索引 1-10巻，価格，会員1,000円，非会員1,500円。11-20巻，会員1,500円，非会員2,000円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類25巻増補，1977。A5版，xxviii+418頁。山田先生の遺影・経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文50編（英文26，和文24）を掲載。価格5,500円（含送料）。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. ABBOTT・黒木宗尚共編，1972。B5版，xiv+280頁，6図版。昭和46年8月に札幌で開催された北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20編の研究報告（英文）を掲載。価格3,000円（含送料）。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977。B5版，65頁。昭和49年9月，札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4論文と討論の要旨。価格700円（含送料）。

Publications of the Society

Inquiries concerning copies of the following publications should be sent to the Japanese Society of Phycology, c/o Department of Botany, Faculty of Science, Hokkaido University, Sapporo, 060 Japan.

1. **Back numbers of the Japanese Journal of Phycology** (Vols. 1-25, Bulletin of Japanese Society of Phycology). Price, 1,000 Yen per issue for members, or 2,000 Yen per issue for non member. Lack: Vol. 1, Nos. 1-2; Vol. 6, Nos. 2, 3; Vol. 7, Nos. 1-3; Vol. 8, Nos. 1-3; Vol. 9, Nos. 1-3.
2. **Index of the Bulletin of Japanese Society of Phycology.** Vol. 1 (1953)-Vol. 10 (1962), Price 1,500 Yen for member, 2,000 Yen for non member, Vol. 11 (1963)-Vol. 20 (1972). Price 2,000 Yen for member, 2,500 Yen for non member.
3. **A Memorial Issue Honouring the late Professor Yukio YAMADA** (Supplement to Volume 25, the Bulletin of Japanese Society of Phycology). 1977, xxviii+418 pages. This issue includes 50 articles (26 in English, 24 in Japanese with English summary) on phycology, with photographs and list of publications of the late Professor Yukio YAMADA. Price, 6,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
4. **Contributions to the Systematics of the Benthic Marine Algae of the North Pacific.** Edited by I. A. ABBOTT and M. KUROGI. 1972, xiv+280 pages, 6 plates. Twenty papers followed by discussions are included, which were presented in the U.S.-Japan Seminar on the North Pacific benthic marine algae, held in Sapporo, Japan, August 13-16, 1971. Price 4,000 Yen. (incl. postage, surface mail)
5. **Recent Studies on the Cultivation of *Laminaria* in Hokkaido** (in Japanese). 1977, 65 pages. Four papers followed by discussions are included, which were presented in a symposium on *Laminaria*, sponsored by the Society, held in Sapporo, September 1974. Price 700 Yen. (incl. postage, surface mail)

昭和54年9月15日 印刷
昭和54年9月20日 発行

編集兼発行者

吉田忠生

〒060 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学理学部植物学教室内

© 1979 Japanese Society of Phycology

印刷所

文栄堂印刷所

札幌市中央区北3条東7丁目342



発行所

日本藻類学会

〒060 札幌市北区北10条西8丁目
北海道大学理学部植物学教室内
振替 小樽 16142

Printed by BUNYEIDO PRINTING CO.

藻類

目次

李龍弼・S. C. リンドストローム：北海道東岸に発見された紅藻 <i>Acrochaetiaceae</i> の一新種 <i>Audouinella kurogii</i> (ハネベニノイト) ……………(英文) 115
G. T. クラフト：ハワイ産紅藻 <i>Cladhymenia pacifica</i> SETCHELL のトゲノリ属への移動……(英文) 123
糸野 洋：紅藻の一新種シマツデガラミ <i>Actinotrichia robusta</i> ……………(英文) 137
阪井與志雄：ツヤナンシオグサとイワシオグサの検討 …………… 143
神田房行：シラルトロ湖におけるマリモの分布 …………… 149
安藤一男：日本産コケ付着ケイソウ (3) …………… 153
太田雅隆・黒木宗尚：北海道産紅藻 <i>Rhodochorton purpureum</i> (LIGHTF.) ROSENVINGE の 生活史について …………… 161
吉田忠生・角田信孝：山口県見島周辺で得られた分布上興味ある海藻 …………… 136
赤塚伊三武：ヒジキの学名の正しい綴り …………… 142
小林 弘：著者が原稿につけるキーワードについて …………… 168
新刊案内…………… 160
投稿案内…………… 171
第4回春期大会のお知らせ…………… 173